

宮前区の
「希望のシナリオ」
実現プロジェクト

お名前:



“みやまえ取り組み隊” 現地ツアー④



企画：キックオフミーティング3班

2019/10/19 ± 10:30~18:00

目的

- ・区内のいろいろな活動や団体の現場をみんなで訪れよう！
- ・現場の良さや課題をみんなで考えよう！

マップ



主催

宮前区役所まちづくり推進部企画課 | コース担当：高橋 瑛乃

コース④ 開催レポート

コース担当
高橋 瑛乃



前日まで雨が心配されましたが、集合時には雨も上がり、暑くも寒くもないウォーキング日和で、途中、ルート上の寺社にも立ち寄りながら、快適な街歩きができました。



有馬オープンガーデンの会
影山 亥史郎さん

■有馬ふるさと公園では、まず、「有馬オープンガーデンの会」の方から、広大なこの公園の成り立ち、昔のままの森を残す部分と公園として整備した部分とで異なる植栽の特徴や西有馬小学校での環境授業など、公園の利用について様々な角度から教えていただきました。さらに、区内6か所で行われている「冒険遊び場」の活動のひとつで、この公園で毎月第3土曜日に行われている「ボレボレ」の活動のお話を伺いました。前日の雨で木の表面が湿っていて、木を傷つけてしまうとの配慮から活動中止となり残念でしたが、いつも木々の間に張られるロープや子どもたちが元気に遊ぶ姿を想像しながら、自分のチカラで楽しむ冒険外遊びの魅力や苦労しながら続けてきた道のりについてお話を伺いました。



樹木名の板をひっくり返すと地元小学生の絵が！



宮前区子どもの遊び場を考える会ボレボレ
山岡 洋子さん



▲福王禅寺

■有馬こども文化センターまでの道は、**有馬町会**の方に案内していただきました。途中で、地域のお祭りやイベントの場にもなっている**神社や公園**を巡りました。一面が多くの木々で彩られ、自然の豊かさが感じられる有馬ふるさと公園とは対照的に、「有馬中央公園」には見通しの良い空間が広がっていて、地域の小さい子どもからお年寄りまでが楽しく交流できるイベント「ふれあいフェスティバル in 有馬」が先日初めて開催されたそうです。公園にも様々なタイプがあると改めて気付き、公園の活用についても考える機会となりました。



▲全国から担ぎ手が集まる御神輿



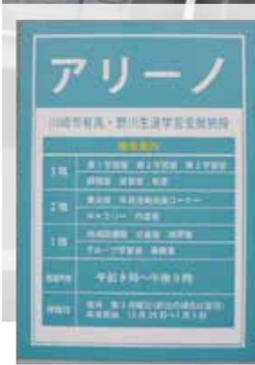
有馬こども文化センター 田村さん



■「有馬こども文化センター」(以下、「こ文」といいます。)に着くと、各自持参した昼食を取ってひと休み。館内は、ハロウィンなど秋らしい飾り付けがされていて、親子連れで本を読んだり、中学生が卓球をしたりと、皆ここで遊び慣れた様子で、思い思いに土曜日の豊かな時間を過ごしているようでした。そんな様子を見ながら、「こ文」の利用の仕組みや大人でも**様々な活動の場**として「こ文」を利用できることなどについて学びました。



■**アリーノ (有馬・野川生涯学習支援施設)**では、館長のご案内で、館内を見学し、2階のグループ室でお話を伺いました。



▼アリーノ主催のイベントや講座



▲図書室は約1万7000冊を所蔵。21:00まで利用可能

市民活動支援



◀アリーノの利用登録している団体は、エントランスのチャシラックに活動情報を配架できる



▲市民活動支援コーナーは登録団体が利用可能
利用されていない時は、学習支援室として解放されている



▲コミュニティスペースは、飲食可能



ヘルスマイト
田村 延子さん

栄養士みやまえ応援団
志賀 美知子さん

■まず、「川崎北高への食育授業」について、栄養士みやまえ応援団、宮前区食生活改善推進員（ヘルスマイト）の方から、お話を伺いました。授業では、すぐに実践できるように冷蔵庫にある材料で簡単に作れる野菜スープの作り方や、菓子パンのカロリーが高いことなどを教えて、高校生に自らの食生活の見直しを呼びかけているそうです。



▲栄養士みやまえ応援団のチラシは誰に読んでもらいたいかによって文字の大きさ等の工夫をしている（左：若いママ、右：シニア）



■次に「有馬町会」の方から、有馬の歴史や文化、有馬町会が行っている様々な活動について教えていただきました。「有馬の風景」と題した多彩なスライドでは、今日、通って来た公園なども確認。地域の人が集まって賑わう活動の様子も沢山の写真で紹介されました。さらに、アリーノ設立の経過や苦労、そして未来につながる熱い思いを伺いました。



有馬町会（防災部長）
永野 勝さん



■最後は「アリーノ子ども食堂」。昨年5月にスタートし、毎月2回の開催で利用者は平均19人。平均13人のボランティアや、近隣農園からの野菜・果物の他、調味料や乾物、肉等の提供も受けるなど、様々な支えを力に頑張っているそうです。11月から高齢者の方も参加できるようにし、多世代交流や地域の活性化につなげたいとのことでした。



アリーノ
（有馬・野川生涯学習支援施設）
境 高幸さん



▲子ども食堂でも使われるアリーノの厨房



ツアー中に見つけました！



■有馬子ども文化センターからアリーノに向かう途中に、戸建を開放したコミュニティサロンを見つけました。建物の外に看板が設置されていました。



■アリーノでは、市民活動コーナーのフリースペースで「本のひろばランパンパン」が読み聞かせをしていました。

お名前:



“みやまえ取り組み隊” 現地ツアー⑤



企画：キックオフミーティング5班

2019/10/23(水) 8:00~17:30

目的

- ・区内のいろいろな活動や団体の現場をみんなで訪れよう！
- ・現場の良さや課題をみんなで考えよう！



主催

宮前区役所まちづくり推進部企画課 | コース担当：山田 将史

コース⑤ 開催レポート

コース担当
山田 将史



全6コース中、一番の晴天に恵まれました。澄んだ青空のもとで、校門ですぐすがしく朝のあいさつを交わし、陽射しの降り注ぐなか、上着を脱いで野川・馬絹地区を歩きました。



▲まずは校門付近の掃除からスタート



▲小学生の登校を見守る防犯ベストを着た地域の方々



▲最後は、当番の児童からお礼の一礼

■8時に西野川小学校の校門に集合し、「西野川小あいさつ運動」に参加しました。校門前に地域の人たち、校門の内側に当番の学年の小学生と先生が並び、登校する小学生たちに「おはようございます」と声をかけます。終了後、校長先生やPTA会長さんも加わって、自治会の方から、小学生の「あいさつをしたい」という声で始まったあいさつ運動の歴史や、これまでの苦勞、あいさつを繰り返すことの効果などを教えていただき、ツアー参加者と意見交換を行いました。



野川台自治会
櫻井さん



西野川小学校
小野瀬さん



PTA
石渡さん



民生委員
鈴木さん



民生委員
辻本さん





▲急な坂を登りきった先にすずの家が見えてきました



■日本の地域包括ケアシステムのモデルであり、海外からの視察も来る「**すずの家**」へ。戸建て住宅を改装した「家」の1階では、認知症などで支援を必要とする野川地域の高齢者の方々がボランティアスタッフとトランプを楽しんでいました。私たちは2階に上がって、この家を運営している方から、自宅で親を介護したいという思いから、地域のお仲間の協力でスタートした小さな取り組みが、やがて地域の高齢者をきめ細やかに見守る先駆的な活動に発展するまでの流れを伺い、困っている人を放っておけないという使命感あふれるお話を伺いました。



すずの会
鈴木 恵子さん



■旬の野菜で季節を感じさせ、農家の思いを伝えるツールとして、こだわりの美味しいシフォンケーキを焼く「**ゆったんのほっぺた**」。戸建て住宅の1階を改装した工房にお邪魔し、最新鋭の生産設備と豊富なシフォンケーキの種類に驚きました。八百屋さんがあかちゃんでも食べられるシフォンケーキ屋さんを始めるまでの経過、こだわりの卵の裏に隠された循環環境保全型農業への共感や旬の野菜のおいしさなど、シフォンケーキを通じて伝えたいこと、将来、叶えたい夢などについても伺いました。



ゆったんのほっぺた
新谷 優樹さん



■「**生活支援センターきまっしー**」は、障がいのある方やその家族が住み慣れたまちで安心して暮らすための相談や支援を行う場所。障がいを持つ人へのサポートの仕方を学べる講座や、地域の人と一緒に楽しめるイベント作りなどについてお話を伺ってから、施設見学をしました。創作活動を行う「**あーる工房**」での利用者の楽しそうな様子や、短期入所できる施設「**こころん**」、日中の一時支援を行う「**たのっしも**」などを見せていただきました。



生活支援センター
きまっしー
阿部 千鶴子さん



▲短期入所施設「こころん」

◀利用者が着物の切れ端からつくった手づくりのマット



■歩いて「TIDA'S house (=太陽のおうち)」へ。野川にある築 60 年の空き家を約 1 年かけてリノベーションし、今年 5 月にオープンした場所で、誰もが笑顔になれる居場所を作ろうと、沢山のお仲間を得てオープンするまでのご苦労と喜び、今後の夢などを熱く語っていただきました。



■建物の外壁に太陽とひまわりと虹の壁画を描いたイラストレーターさんが、ここで**お絵かき教室**を開いており、ちょうど、地域の子どもたちが集まっていました。このイラストレーターさんは、第6期区民会議から生まれた「みやまえスモールビジネスネットワーク」の設立に関わり、地域のハンドメイドの作家さんなどをつなぐ活動もされています。

ツアー中に
見つけました！



▲すずの会の手法やノウハウが詰まった書籍



▲生活支援センターきまっしーに併設された「パン工房 ひよこ」



▲TIDA'S house 内のレンタルスペースとして借りられる空間



▲市営野川西団地



▲野菜の直売所



▲昼食をとったお店の暖簾（のれん）に川崎市のロゴを発見！

(仮称)
宮前区の
「希望のシナリオ」
実現プロジェクト

お名前:



“みやまえ取り組み隊” 現地ツアー⑥



企画：キックオフミーティング4班

2019/10/24(木) 8:30~16:30

目的

- ・区内のいろいろな活動や団体の現場をみんなで訪れよう！
- ・現場の良さや課題をみんなで考えよう！

マップ



主催

宮前区役所まちづくり推進部企画課 | コース担当：松元 翔吾

コース⑥ 開催レポート

コース担当
松元 翔吾



5、6コースは連日の開催でしたが、天候に恵まれ、全コース実施できました。北部市場から菅生、バスに乗って宮前平へ、さらに歩いて土橋・南平台と幅広い地域を巡りました。



■ 8時30分に**北部市場**に集合。業務棟2階の大きな会議室で、出荷から消費者に届くまでの市場のしくみや、青果・水産・花き部門の取扱量・金額等の説明を受けた後、青果棟で果物の袋詰めをする様子や、朝7時から始まっている「花き」のせり売りで、パンジーなどの鉢植えが競り落とされていくところを見学。一般の方も買い物ができる「**関連朝市**」を土曜日に開催している関連商品売場棟にも足を運びました。



はぐるま稗原農園



社会福祉法人はぐるまの会
福田 真さん

■歩いて「はぐるま稗原農園」へ。障がい者が安心して働いて学べるこの農園は、稲田中元先生たちが、卒業後も教え子たちが地域ですっと暮らしていけるように私財を投じて設立したそうです。グループホームを囲むように広がる農園で、障がい者とボランティアと一緒に作業をしていました。地域の人たちの理解も得ながら、障がいを持つ仲間たちが生き生きと働きながら暮らす場所として定着してきたが、農業で利益を上げるのは難しく苦労や課題も多いとのこと。ここで障がいのある人と農業をしたいという人がいたら紹介してほしいという話もありました。



現地ツアーエピソード

水沢から宮前市民館（宮前平）に向かうために、今回の現地ツアーで初めてバスでの移動をしました！時間に間に合うかドキドキしながらバス停に向かいました



■バスで宮前市民館に移動し、市民館ロビーで6つのグループが交代で開催しているコミュニティカフェ（café みやまえ）でお茶をいただきながら、お話を伺いました。この日は、「CAFÉ バルーン」の開催日で、いつものロビーがハロウィンのバルーンアートで飾られた色彩鮮やかな空間に生まれ変わっていました。また、カフェと併せて6月に試行実施した市民活動や地域活動の案内役となる「市民コンシェルジュ」の取組についても教えていただきました。



市民コンシェルジュ
川西 和子さん



CAFÉ バルーン
古賀 祥子さん



▲Café では、賛同費 100 円で参加可能



▲コーヒー等の飲み物やお菓子もいただきました





■住宅地に残された「一枚の畑」に面した「Restaurant & Café 谷戸の下」へ。希望者が参加する交流会で、この畑や地域の恵みを味わう地産地消のランチ「谷戸珈哩セット」をいただきました。土橋の古い土蔵に貼られた「オオカミの護符」のルーツを巡るドキュメンタリー映画などを制作する「ささらプロダクション」の活動の話を伺い、代々受け継がれた蔵で大切に保存されていたお椀でお吸い物をいただき、白壁が美しい土蔵も見学するなど、目と舌でこの土地の伝統文化を体験しました。

◀小倉さんをはじめスタッフの方々。ツアーのために、助っ人として手伝ってくださった方もいました



ダンボール図書館を発見!

*詳細はコース2を参照

■ツアー最後の訪問場所は「NEXCO 中日本コミュニケーションプラザ川崎」でした。東名高速道路東京料金所のすぐ近くにある施設ですが、入口が奥まっていることもあり、近くを良く通るが入ったのは始めてという参加者も。高速道路が体感できる精巧につくられたリアルで巨大なジオラマや、渋滞や事故の情報が集約されている道路管制センターがあり、屋上から東京料金所が見下ろせるなど、見所も沢山。見学終了後、この施設の活用などについて自由に意見交換を行いました。



▲事故や渋滞情報が集まる道路管制センター



▲全長10mもある、高速道路のジオラマ



▲レゴを使って、オリジナルの標識をつくることができます



▼改修中の料金所が屋上から見えました！ツアー最後の記念撮影



NEXCO 中日本 コミュニケーションプラザ川崎 近川 彰さん